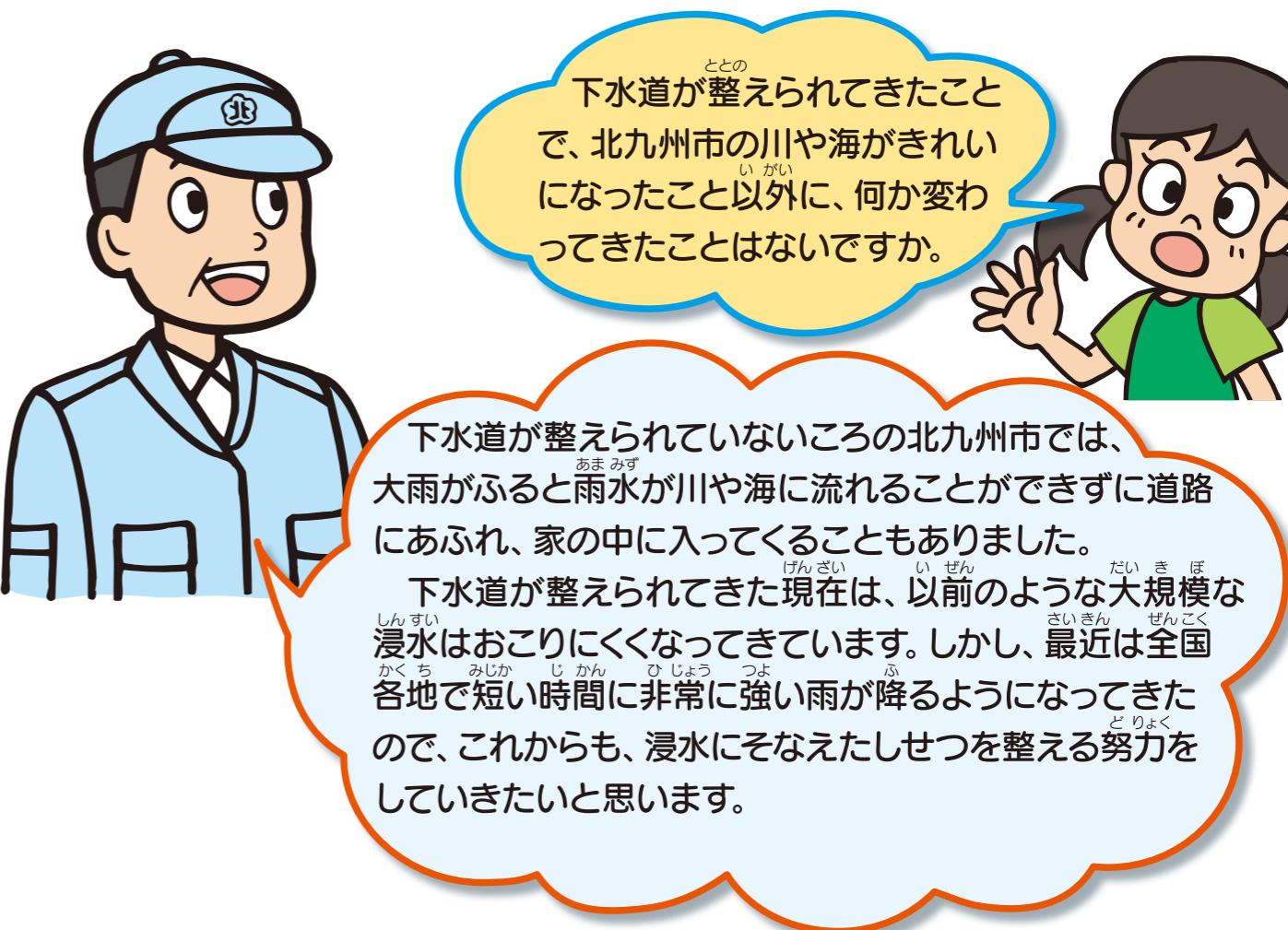


### ▼きれいになった紫川



### ▼大雨で道路に水があふれた時の様子



▲昭和28年（1953年、今から67年前）小倉北区三萩野



下水道には、川や海をきれいにする役割だけでなく、水害からまちを守る役割もあるんだね。

#### ★指導上の留意点★

北九州市は、平成6年に紫川をきれいにしたこと、さらに平成9年に海や川を汚す原因のリンを下水から取りのぞき、肥料として再利用することを考えたことで、国から「いきいき下水道賞」（建設大臣賞）をいただきました。

環境化学研究所の平成元年の調査によると、洞海湾には115種類もの魚や貝が確認されています。

#### ★指導上の留意点★

北九州市では、汚水整備はほぼ完成しましたが、浸水対策は計画の70%程度です。

下水道を早い時期に整備した地区では、汚水と雨水と一緒に流す合流式下水道が残っているため、これを汚水と雨水を別々の管で流す分流式下水道に変更したり、河川事業と協力したりして浸水対策に取り組んでいます。